

事業実績報告書

(※市ホームページに掲載予定ですので、できる限りわかりやすく記載してください。)

団体名 女性の視点で防災を考える宝塚どないしょネット

1 事業種別	<u>行政提案型</u> ・ 自由提案型
2 事業名	「たからづか発 私の防災力UPガイド」改訂版作成
3 事業の内容(実施時期、場所、回数、内容、参加者数などを含めて具体的に記入してください。)	

【編集会議】

- 第1回 7/24(10:00~11:00)宝塚市役所 今後のタイムスケジュール確認 8名参加
- 第2回 8/2(13:30~15:30)宝塚市役所 改訂版制作に伴うスフィア学習会開催について 7名参加
- 第3回 8/7(10:00~12:00)宝塚市役所 スフィア学習会講師検討、改訂版に盛り込む内容の検討 4名参加
- 第4回 8/29(10:00~12:00)中央公民館 スフィア学習会案内チラシ検討 7名参加
- 第5回 9/3(13:00~15:00)中央公民館 スフィア学習会詳細詰め、スフィアハンドブック購入検討 6名参加
- 第6回 9/5(13:00~15:00)中央公民館 スフィア学習会役割決め、どないしょメンバーが講師になったときの謝金の扱い方について協議 5名参加
- 第7回 9/8(10:00~12:00)中央公民館 改訂版コラム依頼について 5名参加
- 第8回 10/1(13:00~15:00)中央公民館 スフィア学習会に向けて最終確認 6名参加
- 第9回 10/11(13:00~15:00)中央公民館 スフィア学習会ふりかえりおよび改訂版イラスト担当者とのすり合わせ 6名参加
- 第10回 10/16(15:00~17:00)中央公民館 改訂版の全体的な配分と書きぶりの確認 5名参加
- 第11回 10/29(13:00~15:00)中央公民館 スフィアハンドブック発送状況確認と依頼のあった講演会・ワークショップの共有 4名参加
- 第12回 11/7(9:30~11:30)中央公民館 スフィアページのリード文を検討および新メンバー加入について 5名参加
- 第13回 11/20(13:00~15:00)中央公民館 新メンバー初参加、依頼のあったワークショップの共有 6名参加
- 第14回 12/2(13:00~15:00)中央公民館 コラム担当者最終決定およびイラスト担当者とイラストの詰め作業 6名参加
- 第15回 12/23(13:00~16:00)中央公民館 参加した研修内容の共有および改訂版ページ割振と検証 6名参加
- 第16回 12/25(10:00~12:00)中央公民館 各国の避難所事情の共有および現行版の価値の再確認 6名参加
- 第17回 1/15(13:00~15:00)中央公民館 印刷業者との顔合わせとすり合わせ、「自分力」「地域力」「市民力」の文言使用確認 10名参加
- 第18回 1/31(13:00~16:00)中央公民館 ゲラを見ながら内容や表現を検討 7名参加
- 第19回 2/10(13:00~15:00)中央公民館 各ページの見せ方や具体的な表現をする箇所について検討 5名参加
- 第20回 2/19(13:00~16:00)中央公民館 スフィアについて盛り込む部分の確認 9名参加
- 第21回 2/28(13:00~16:00)中央公民館 第1回作業部会を受けて、プロジェクターで画面を確認しながらレイアウトと文言の精査 8名参加
- 第22回 3/5(13:00~16:30)中央公民館 第2回作業部会を受けて、プロジェクターで画面を確認しながらレイアウトと文言の精査 6名参加
- 第23回 3/10(13:00~16:30)中央公民館 プロジェクターで画面確認しながらレイアウトと文言の最終確認 5名参加
- 第24回 3/14(13:00~17:00)中央公民館 文言の公式な意味や表現を最終確認、裏表紙の詰め作業 9名参加
- 第25回 3/24(13:00~16:00)中央公民館 表紙の色・レイアウトや文言を最終決定し、最終稿とする。他今後の活動予定共有。 8名参加

【作業部会】

4 事業の効果・成果（事業を実施したことにより得られた社会的な利益などを具体的に記入してください。）

今後発生が危ぶまれる大規模災害に備え、みんなが住み慣れたまちで安全に安心して暮らし、災害後に一日も早く復旧・復興を果たし日常を取り戻すためには、日頃からDVや性暴力防止を含めた防災の学びや、防災計画策定や被災地・避難所での意思決定機関に女性が参画することが必要です。そのために私たちは今回作成した改訂版を使って、防災や年齢・性別を問わない性暴力防止の啓発に取り組みます。これは単年度に終了する取り組みではなく、市人権平和・男女共同参画課の進めているジェンダー平等を阻む思い込みなどの解消や、国も進めているLGBTQの課題解決のための市民の意識の醸成や行動の変化などに今後も継続して貢献するものと確信しています。

また、本事業において、用語や文言の公式な表現や正確な意味を確認する機会が何度もあり、今後改訂版を使ったワークショップや講演に大変有意義なこととなりました。それらの確認作業に、市総合防災課、市人権平和・男女共同参画課、市地域福祉課、兵庫県動物愛護センター等の多大なご協力をいただいたことは感謝の念に耐えません。

特に「スフィア」については昨今国会でもよく聞くようになってきましたが、数年前にこの国際基準に触れ防災・人権啓発の両方に大切であると考えており、今回改訂版で大きく取り上げることができました。

改訂版には資料の出典元等を盛り込み、ロゴマーク使用にあたって会員登録をしなければならない等の制約があるものはロゴマークの使用を避けながら大事なところを文言で説明する等工夫しました。

市民のグループが作ったガイドブックですが、多方面の協働の結果できたものであり、このガイドブックを使って市民一人ひとりの防災力を高める一助になれば幸いです。そして今後は多言語対応等で宝塚市に住むより多くの市民に届くようにしたいと考えています。

このガイドブックを使って今後も人権課題を盛り込んだ防災ワークショップや講演を続け、もしもに備え安心して暮らしていける地域の醸成に取り組めます。

事業実績報告書

(※市ホームページに掲載予定ですので、できる限りわかりやすく記載してください。)

団体名 **Takarazuka** ベーカリーフェス実行委員会

1 事業種別	行政提案型 ・ 自由提案型
2 事業名	Takarazuka ベーカリー&カフェフェス
3 事業の内容（実施時期、場所、回数、内容、参加者数などを含めて具体的に記入してください。）	第1回 Takarazuka ベーカリー&カフェフェス (実施時期) 2024年12月8日(日) 10時～15時 (場所) 武庫川河川敷左岸 宝塚駅から宝塚大橋までのエリア (参加者数) 来場者 4,354名、出店店舗 15店、宝塚市食育ブース、 当日ボランティア 10名、実行委員会メンバー 21名 (目的) 武庫川河川敷に宝塚市及び近郊に点在するベーカリー&カフェを集め、市民参加型のイベントを通じて、近隣住民のコミュニティ強化、宝塚市の資源活用、活性化を図る。 (内容) 宝塚市および近隣のベーカリー、カフェの販売ブース 複数店舗の購入促進と継続購入を促す宝塚市 Map でのお店紹介エリア 和やかな居場所を見つけられる飲食ブース Will/車いすの体験ブースで、あらゆる人が一緒に楽しめる空間/きっかけづくり 幅広い世代がみんなで楽しめるイベント（パン食い競争） (事後まとめ) チラシ作成&配布・・・～3月 当日参加の実店舗紹介に加え、当日ボード書き込みで募った参加者からの「推しのお店」情報をまとめた「宝塚のお店紹介マップ」のチラシを作成し、広く配布した。 1日のイベントで終わりではなく、継続的なお店活性化の一助として、また、次年度以降のチラシ充実による広告収入（イベントの資金作り）を狙ったもの。試験的な取り組みとして500部作成／配布。 (協力団体) 株式会社ナビック、ネッツトヨタ神戸株式会社、有限会社太陽商会、 甲子園大学、宝塚栄養士会、有限会社クルーズ
4 事業の効果・成果（事業を実施したことにより得られた社会的な利益などを具体的に記入してください。）	

<Civic Engagement の新しい場の提供>

多様なステークホルダーの集合知と創造性を活用し、宝塚市とメンバーが一体となってコミュニティ・空間を盛り上げ、自分たちのまちづくりを行う場を提供しました。

(学生から社会人、地域の方から企業の方が参加)

<市内消費の促進>

15 店舗は何度か補充をいただいたお店も含め、全店売り切れ。新しいお店発見のきっかけとなりました。アンケートやボードを使ったメッセージから、来場者参加型で市内の情報交換を行うことができました。

<あらゆる人が楽しめる場の提供>

お子様からお年寄りの方、車いすの方などの参加もありました。車いすでも座りやすい飲食ブースの提供、体験ブースなどを通し、幅広い方の参加が実現しました。

<宝塚市の魅力発信>

市外からの来場者からは「初めて宝塚市を訪問するきっかけになった」「想像以上にいい場所でした」といったコメントをいただいた。宝塚市を象徴するよい景観でのイベントで宝塚市の魅力発信となりました。

事業実績報告書

(※市ホームページに掲載予定ですので、できる限りわかりやすく記載してください。)

団体名 宝塚市花のみち自治会

1 事業種別	行政提案型 ・ 自由提案型
2 事業名	河川敷焼き芋体験&マラソン大会
3 事業の内容（実施時期、場所、回数、内容、参加者数などを含めて具体的に記入してください。）	実施時期：12月8日 場所：武庫川河川敷左岸（宝塚大橋～荒神川） 回数：年1回 参加人員：約70名 実施方法： - 参加者に枯れ葉を集めてもらい、焚き火用囲いの中に入れてもらう - さつま芋をアルミホイルに包み、枯れ葉の中に入れてもらう - マラソンを行う。（コースを2周） マラソン経路の両端に見張り者を立て、通行人の交通整理を行う
4 事業の効果・成果（事業を実施したことにより得られた社会的な利益などを具体的に記入してください。）	武庫川河川敷は自然に恵まれ、散歩や遊びに最適な場所ですが、なにもしないと雑草が生い茂り歩行困難になるため、年3回（合計9日間）の草刈りを実施しています。 この活動を維持するためには若い方の参加が必須であり、この事業で河川敷に愛着を持ってもらえれば幸いです。 この事業には美座自治会からも参加してもらい、地域コミュニティの絆を深めただけでなく、自然環境の保護と維持にも役立ったのではないかと考えています。

事業実績報告書

(※市ホームページに掲載予定ですので、できる限りわかりやすく記載してください。)

団体名 宝塚市第一地区自治会連合会

1 事業種別	行政提案型 ・ 自由提案型
2 事業名	第一地区ネットワーク会議 にこりたす1 DAY
3 事業の内容（実施時期、場所、回数、内容、参加者数などを含めて具体的に記入してください。）	実施時期：令和6年9月28日（土） 場 所：くらんど人権文化センター 回 数： 1 内 容：①トレジャーハンター（地域にちらばっている地域活動を集めるまちあるき） 小学校区ごとに9時～1時間半で校区内を探検 くらんど人権文化センターにて結果の報告会 参加者数： 53名 ② にこりたす祭（自分の得意を教えるワークショップ等） オープニング：和太鼓集団 熱光による和太鼓演奏 大ホール：光明小学校音楽隊、仁川小学校音楽隊、大阪音楽大学 高司小学校金管バンド演奏及び高松子どもエイサーの演奏 各 教 室：地域団体によるワークショップ 中ホール：ボッチャ体験 中野公園・調理室では、地域活動参加者が、飲食販売 参加者数：400名 イベントスタッフ：130名
4 事業の効果・成果（事業を実施したことにより得られた社会的な利益などを具体的に記入してください。）	事業の効果 ① 効果の広域性：第一区内の5小学校区まち協と自治会連合会（30）並びに民生児童委員協議会、小学校PTA、地域ボランティア（中学生・大学生）、地域活動者が一体となって参加し、各団体との連携が強化できた。 特に、中学校生徒会を中心としたボランティア、大学生ボランティアの活躍が目立つ ② 成果：中学生がトレジャーハンターに参加したことで、地域の発見等が多く報告され防災意識等の向上が図れた。またセンター内では、地域活動8団体が、公園内で1団体がワークショップ等を開催活況を呈した。 ③ 中野公園・調理室では、地区内の団体（8）が飲食を提供し、多くの参加者が列を作った。 総合的な効果 ① 地域内の各団体が多く参加し、各世代間のきづなづくりがさらに強化された。 ② 各団体が相互に情報交換できるツール（ホームページ、ライン）が整備され今後も活用されることで、地域内主体の連携がスムーズにでき、今後も期待したい。

事業実績報告書

(※市ホームページに掲載予定ですので、できる限りわかりやすく記載してください。)

団体名 NPO 法人たんぽぽルーム

1 事業種別	行政提案型 ・ 自由提案型
2 事業名	つながろう！地域交流広場！
3 事業の内容（実施時期、場所、回数、内容、参加者数などを含めて具体的に記入してください。）	◎地域交流広場～赤ちゃんからシニアの方までがかかわれる広場づくり ○令和6年6月22日（土）「安倉会館に花を植えよう+遊びの広場（絵本の読み聞かせ）」 参加者…大人10名 小学生19名 未就学児12名 計41名 ○令和6年8月27日（火）「折り紙を安倉会館に飾ろう！+遊びの広場（絵本の読み聞かせ）」 参加者…大人12名 小学生12名 未就学児8名 計32名 ○令和6年10月19日（土）「安倉会館でハロウィン」 参加者…大人4名 小学生20名 未就学児4名 計28名 ○令和6年11月8日（金）「豚汁を一緒に食べよう」 参加者…大人16名 未就学児12名 計28名 ○令和6年11月15日（金）「歌とお話を楽しもう！」しみずまゆこさん 参加者…大人9名 未就学児24名 計33名 ○令和6年12月6日（金）「安倉会館に花を植えよう」 参加者…大人15名 未就学児15名 計30名 ○令和6年12月10日（火）「人形劇を観よう」人形劇団こむ 参加者…大人2名 未就学児…17名 計19名 ○令和6年12月27日（金）「折り紙を安倉会館に飾ろう！」 参加者…大人6名 小学生7名 未就学児8名 計21名 ○令和6年3月27日（木）「地域交流広場&歌とお話」しみずまゆこさん 参加者…大人15名 小学生2名 未就学児16名 計33名 ◎地域交流バザー ○令和6年11月24日（日）バザー+遊びの広場（絵本の読み聞かせ） 約200名
4 事業の効果・成果（事業を実施したことにより得られた社会的な利益などを具体的に記入してください。）	○昨年に引き続き安倉会館が誰もが集える地域の居場所になるように環境整備に力を入れると共に幅広い年齢層で一緒に楽しめる内容の広場を開催した。チラシ配布等広報活動にも力を入れ昨年よりもシニア層の方に少し知ってもらい、まだまだ人数は少ないが訪れてもらえたことは成果である。道行く人と会話すると「安倉会館は選挙でしか行ったことがない」という方が多く、直接伝えていくことで会話も弾んだ。かなり地道ではあるがこのような活動の積み重ねで地域が繋がっていくということを感じた。 ○子育て世代には幅広く遊びに来てもらえ、幼児教育無償化により同じ地域に住みながら知らない親子同士がつながるきっかけになったことは大きな成果であると感じる。 ○地域交流バザーではあちらこちらで会話が飛び交う姿が見られ、多世代での交流が出来たのではないだろうかと感じている。 ○コミュニティや自治会の方とも話し合う場も持ち、同じ願いをもって今後取り組んでいければと関係性をもてたことも成果である。今後も少しずつではあるが時間をかけてたくさんの人とつながりながら温かい地域づくりに努めていきたいと思う。

事業実績報告書

(※市ホームページに掲載予定ですので、できる限りわかりやすく記載してください。)

団体名 壁がなければ実行委員会

1 事業種別	行政提案型 ・ 自由提案型
2 事業名	第3回すべての人の作品展ぶらす
3 事業の内容（実施時期、場所、回数、内容、参加者数などを含めて具体的に記入してください。）	※実施時期、場所、回数、参加予定人員等を含めて具体的に記載してください。 ～『共生の場』づくりのためのアートを深める～ ○ 公募展 無審査・無賞・無料・対象不問の自由出品公募による作品展示 地域住民による手作り防災マップ展示 2024年10月10日(木)～14日(月)10:00～18:00 5日間 宝塚市立国際・文化センターギャラリー1・2・3 出品 107名 / 会場運営ボランティア 延43名 ○ 触覚アート展示 視覚を使わなくても体験できるアート 2024年10月12日(土)～13日(日)12:00～18:00 2日間 宝塚市立国際・文化センター会議室1 出品 20名(公募+ワークショップ参加者) / 会場運営ボランティア 延4名 ※公募展(触覚アート展示含む) 来場者396名 ○ -予定- 地域手作り防災マップ展示 公募展出品を制作参加者の要望により再展示 2025年2月1日(土)～28日(金) 9:00～17:00 24日間、日曜日休み こむぶらざ1ギャラリーコーナー 展示会場運営ボランティア 延3名 ◆ワークショップ 盲目の美術家による触覚の世界体験とミニ作品づくり 2024年10月12日(土)13:00～16:00 宝塚市立国際・文化センター会議室1 講師 3名 / 参加者 15名 ◆ワークショップ 地域の防災マップづくり 2024年9月21日(土)11:00～12:00、25日(木)10:00～12:00・13:00～15:00 28日(土)11:00～12:00、10月2日(木)10:00～12:00・13:00～15:00 こむぶらざ1フリースペース 参加者 延43名 / 運営ボランティア 延16名 ○ レクチャー 展覧会などアート行事や活動に、どなたでも気軽に参加してもらえるよう手引き 2024年10月5日(土)14:00～16:00 宝塚市立国際・文化センター小ホール 講師 1名 / 補助ボランティア 4名 / 参加者 25名

4 事業の効果・成果（事業を実施したことにより得られた社会的な利益などを具体的に記入してください。）

コロナ禍明けということもあったと思いますが昨年度まで多かった特定の会や教室に属しておられて普段より発表の機会を持っておられる方々のご参加は姿を消し、他の機会が少なく或いは持たない方々の参加が増えたように思います。「通っている作業所に作品発表の機会があったら教えてくれるよう頼んでいた」「昨年この作品展を見た人から聞いて公募があるのを待っていた」というお話を伺うことは開催者冥利に尽きます。また、「会の趣旨に賛同し応援したいので出品します」というアーティストの方も増えました。

触れるアート展示では、障がいのある方とそうではない方が共に作業をするという事が相互の理解に繋がり、違いはあっても優劣はないと互いの偏見の払拭に繋がったという感触がありました。作品展において、障がいのある方の作品が評価されることも多いですが、そこには哀れみのような感情が介入し平等な目線で作品を見ているとは思えないことも多くある中で、相手を知れば、対等な同じ立場の人として見るようになると思います。全盲のアーティストさんに来ていただきましたが、「先生、かつこいいい！」と小さなお子様から発声のあったことは忘れられないエピソードの一つです。

会期に先駆けて開催したレクチャーでは、「うまく描けなくても良いんだとわかり、下手と言われて封印していた描きたい気持ちを出す気になれた」「アートは身近で皆で共に楽しめる心を豊かにしてくれるものなんだと分かり、生活に取り入れたいと興味が湧いてきた」などのご意見を戴きました

更に、防災マップづくりでは、アートに関心はなかったという方や子供から大人までの参加があり、当該事業の裾野を確実に広げたという手ごたえがありました。「マップづくりの為に自分の住んでいる地域を見て、施設のことや自然の樹木のことなど普段気にかけていないものの意味や重要性を知った」「高齢者の施設や障がい者の施設が存在が意識できて、近所に住んでいるのだからお互い助け合わないと思えた」「描いたりすることは好きではなかったが、色々、調べたりできるかなと思い参加したところ、絵の具を使うのも何か癒される気がした」などの感想を戴き、「アートから地域を知って助け合いの心が芽生える。名実ともにアートで絆づくりが実現します。

今年度は、開催の趣旨への認知も広がりつつある中で確実なイベントをこなし、～すべての人が互いを認め合い、支え合い、共に輝きつづける 安心と活力のまち 宝塚～の実現に向けて、『皆が等しく主役』『アートで相手や地域を知って助け合う』という次回に向けてのコンセプトも浮かび上がり、アートで地域のきづなづくりの更なる大きな一歩が踏み出せたと思います。

事業実績報告書

(※市ホームページに掲載予定ですので、できる限りわかりやすく記載してください。)

団体名 たからづか縁卓まちづくりネット

1 事業種別	行政提案型 ・ 自由提案型
2 事業名	高齢者から子育て世代、子どもまでの交流によるお互いさまのまちづくり
3 事業の内容（実施時期、場所、回数、内容、参加者数などを具体的に記入してください。）	◆①情報誌「もちつもたれつ」の制作・発行・配布 7～12月（別紙もちつもたれつ第2号参照） タブロイド判 4頁 発行部数 3,000部 …子育て世代とシニアの子育て応援活動をつなぐ媒体として、情報誌第2号を発行しました。 まちづくり協議会（すみれコミュニティ）や宝塚北高校、ボランティアプラザ zukavo やファミリーサポートセンターなどの協力を得て、学校応援団や世代間交流でのシニアや若者の声、子育て応援活動を紹介しています。 川柳コーナーでは、社会福祉協議会にて川柳を公募、今回も多数の応募がありました。 もちつもたれつ第2号は、宝塚市社会福祉大会（11月 社協主催）、このたのカーニバル（12月 こもたのプロジェクト）、づか塾（12月 宝塚市地域福祉課）などで配布しています。 ◆②シニア・子育て世代・子ども交流イベントの企画・運営の取り止めについて 計画書にありました12/1（日）こもたのカーニバルとの共催実施については、こもたのカーニバルからの以下の理由で共催は難しいとのお話があり、取り止めました。 理由： 今年は市制70周年で、こども未来部から協力（共催にするとお金が発生するので協力です）の申出があり、また、環境・エネルギー部から協力の申出があったため、 ① 運営が複雑になること、 ② 上記により昨年に比べ使える場所が半分近くになり たからづか縁卓まちづくりネットの共催と呼べるようなスペースが十分に取れないこと 参考）本きずなづくり補助金事業とは別に、宝塚市制70周年記念 市民活動支援補助金事業により、6月8日に子育て応援講演会を開催し、2月にその活動参加者等による座談会を実施する予定です。

4 事業の効果・成果（事業を実施したことにより得られた社会的な利益などを具体的に記入してください。）

◆情報誌「もちつもたれつ第2号」の制作過程で得たこと、反響など

第2号1頁は、地元高校生と地域コミュニティの交流をテーマにしました。高校生が地域の盆踊り大会の運営に参画し地域を盛り上げる内容ですが、取材を通して高校生や学校との意見交換もでき、高校生が地域イベントの企画段階から参画したいとの意欲があることがわかりました。コミュニティ運営者からは来年の運営の参考になったとのコメントがありました。

また、学校応援団による小学校での子どもとの交流活動について、高校生になった子と学校応援団メンバーとの座談会を行いました。高校生は今でも学校応援団活動者の顔を覚えていて、大学は地元に進学し今度は自分が地域の活動者になりたいとの話をされ、学校応援団メンバーが改めて自分たちの活動を続けていてよかったと述懐し、活動意欲を新たにしていました。

2頁の“AI時代だからこそEQ”の記事は、シニアの地域デビュー応援講座“づか塾”などでも紹介しています。急速に進むデジタル化社会で、人間関係の希薄化、コミュニケーション力の低下、引きこもりなど現代社会の諸課題につながるテーマとして多くの方が共感されていました。

3頁の社会福祉協議会を通じてシニアの方々に募集した孫・他孫育て川柳は、皆さん喜んで川柳を応募され、掲載されることを楽しみにされているという社協担当者からのコメントをいただいています。

以上 私たちの活動は市民、他組織にも共感を生み、広がりつつあります。

事業実績報告書

(※市ホームページに掲載予定ですので、できる限りわかりやすく記載してください。)

団体名 宝塚三曲協会

1 事業種別	行政提案型 ・ <u>自由提案型</u>
2 事業名	宝塚三曲協会 令和6年度定期演奏会（第61回）
3 事業の内容（実施時期、場所、回数、内容、参加者数などを含めて具体的に記入してください。）	会場 ソリオホール 日時 令和6年11月17日（日） 13時開演（開場12時30分） 観客 約200名（除く、出演者） 内容 1）演奏会 ① 所属会員17社中の内、14社中が出演 ② 演奏曲数は13曲 会員曲は9曲 県立北摂三田高等学校邦楽部と市立御殿山中学校琴部が各1曲 子供たちの演奏が2曲 ③ 出演者総数は62名 2）ロビーで「邦楽器の体験コーナー」を開催（12時30分から15時30分） ① 参加者は全体で64名（内、箏・三弦：30名・尺八：34名） ② 楽器の取扱い・譜面等を説明し、楽器に触れ音出し等を体験
4 事業の効果・成果（事業を実施したことにより得られた社会的な利益などを具体的に記入してください。）	毎年開催している演奏会の場を活用し邦楽への認識を深めて頂くことを主眼としました。また、チラシを3千枚（従来比1千枚増）印刷し市の各施設に置かせて頂いたこと、会員が趣旨をPRしたこと等により、来場者は従来比略倍増となりました。 1）会員の出演曲を減らし、会員以外の方に出演機会を提供 ① 県立北摂三田高等学校邦楽部と市立御殿山中学校琴部の2校が出演 ② 子供たち2名が出演 ③ 来年以降も学校出演の場を提供する予定 2）ロビーでの邦楽器の体験コーナーを開催 ① 参加者は上記の通りで予想以上の反響があった ・ 尺八を初めて手にする方も多く、単純な構造に感心され、また息入れのコツを教えただけで直ぐに音が出た高校生がいました ・ 五線譜でない譜面、また流派によりそれぞれの違いにも驚かれていた ② 体験コーナーにより邦楽への認識・親しみ易さを実感頂けたと思います ③ 次回以降もコーナーをとの要望もあり、検討したいと考えています

事業実績報告書

(※市ホームページに掲載予定ですので、できる限りわかりやすく記載してください。)

団体名 ひらりん宝塚フェスティバル 実行委員会

1 事業種別	行政提案型 ・ 自由提案型
2 事業名	ひらりん宝塚フェスティバルを通して、地域の素晴らしさを再発見! 探索しよう!
3 事業の内容 (実施時期、場所、回数、内容、参加者数などを含めて具体的に記入してください。)	実施時期、場所、回数、参加予定人員等を含めて具体的に記載してください。 (ア)名称 第3回 ひらりん宝塚フェスティバル (イ)日時 2024年5月25日(土) 10:00~16:00 (ウ)会場 宝塚市社町4-7 平林寺本堂前、平林寺会館、成福院駐車場、宝寿院 (エ)主催 ひらりん宝塚フェスティバル 実行委員会 (オ)目的 宝塚市社町 逆瀬川~小林界限の復興を目指す (カ)対象 京阪神を中心とした多くの方々 (キ)集客 約2,000人 後援 宝塚市/宝塚市教育委員会 (ク)宣伝 宝塚市役所 (商工勤労課/社会教育課/広報課/観光課) ① 広報たからづか/FM宝塚83.5 たからづかタウンガイド / ② Kiss PRESS ③ J:COM LIVE ニュース / J:COM WEEKLY / 読売新聞 阪神版 / (ケ)宣伝 良元小学校 400部/ 宝塚第一小学校 1140部 / 末広小学校 430部 ① 光明小学校 / 末成小学校 / 西山小学校 / 逆瀬台小学校 ② 宝塚第一中学校 / 宝梅中学校 (各 全生徒) ③ 宝塚市広報版 50ヶ所 (予定)宝塚市自治会広報版 2か所 *パネルシアター *自然学習会(#1)*ロボットアームを作ろう(#2)*音楽 *落語 【ワークショップ】*ステンシル体験 *キャンドル作り体験 *念珠作り体験 *ネイル体験 *香りのお守りをつくろう *開運文字アート&水引チャームワークショップ 【販売・娯楽】 *手作り小物 *プラスチック再利用キーホルダー * *射的 *オリジナルおみくじ(2種)*スーパーボールすくい *占い(中国式四柱推命、数理姓名占術、タロットカード) 【飲食】 *ソフトクリーム *鯖ずし *焼きそば、かき氷 *おにぎり *ドーナツ *ピザ *グルテンフリークッキー 【宝寿院】 お琴の演奏 / 和菓子とお抹茶(不飾庵)

4 事業の効果・成果（事業を実施したことにより得られた社会的な利益などを具体的に記入してください。）

第2回のイベントまでは、平林寺本堂前、平林寺会館、宝寿院(塔頭)のスペースでしたが、同日開催で「全国金魚すくい選手権予選大会を大会」が小林会館でしたこともあり広範囲でのイベント開催となりました。

西光院(塔頭)前での音楽ライブ、成福院(塔頭)駐車場ではキッチンカーも参加した飲食店は10店舗参加がありました。

金魚すくいの予選大会には、鳥取県、千葉県、滋賀県からなど遠方から参加があり、空き時間にひらりん宝塚フェスティバルにも来場いただきました。

7会場に人があつまり、1日中楽しめるイベントで地域の人だけでなく、2000人も人が集まり、元気・パワーを持って帰ってもらいました。

事業実績報告書

(※市ホームページに掲載予定ですので、できる限りわかりやすく記載してください。)

団体名 宝塚第一小学校区まちづくり協議会

1 事業種別	行政提案型 ・ 自由提案型
2 事業名	一小宝梅ハウスまつり
3 事業の内容（実施時期、場所、回数、内容、参加者数などを具体的に記入してください。）	実施時期 令和6年10月27日（日）11時～15時 実施場所 一小宝梅ハウス 回数 年1回（今回6回目の開催） 参加者数 130名 内容 今回で6回目となる宝梅ハウスまつり。天候にも恵まれ130名の来場者で賑わいました。宝梅ハウスを利用している書道教室の生徒の作品や趣味の会、高齢者サロン参加者の手作り作品の展示をはじめ「Nゲージ鉄道模型の実演」「手品」「ギター演奏」など地域の方の特技を生かしたコーナーも盛況でした。 手品コーナーでは簡単なトリックを教えてもらって子ども達も大喜びでした。またバルーンアートの実演コーナーでは子ども達に交じって大人も童心にかえって楽しそうに作品を作っていました。駐車スペースを活かしたカフェではぜんざいやコーヒー、ジュースなどの飲み物を無料で提供し、来場者の休憩場所や語らいの場所として大いに賑わいました。 世代間を超えて地域住民が集う楽しいお祭りとなりました。
4 事業の効果・成果（事業を実施したことにより得られた社会的な利益などを具体的に記入してください。）	当日は兵庫県知事選の投票日と重なり、投票の行き帰りに来場される方もおられ、子どもから大人まで130名の来場者があり大盛況となりました。 地域の方が特技を生かした分野で参加し、生き活きと活動に取り組むことで心身ともに活性化する機会になったと思っています。 またこのイベントを通して、住民同士のふれあいの場づくり、地域の賑わい、多世代交流の活性化に繋げる一歩を進めることができたのではないのでしょうか。 これを機に子どもからおじいちゃん、おばあちゃんまで楽しく集い、一小宝梅ハウスが地域の皆さんに利用しやすい施設として認知されれば、利用者の増加に繋がることと期待します。ひいてはまち協の活動にも関心が深まると考えます。 小さな場所の小さな祭りですが今後も継続していきたいと思っています。

事業実績報告書

(※市ホームページに掲載予定ですので、できる限りわかりやすく記載してください。)

団体名 南ひばりガ丘中島自治会

1 事業種別	自由提案型
2 事業名	なかじまフェスタ
3 事業の内容（実施時期、場所、回数、内容、参加者数などを含めて具体的に記入してください。）	◇実施時期 2024 年 11 月 4 日（振替休日） ◇場所 南ひばりガ丘中島自治会館及び空き隣地 ◇回数 1 回/年 ◇内容 対象者として全自治会員とその子ども達、地域住民と地域の子どもの皆さんに参加して頂いた。 ・子ども達は自治会館に設置した 4 種類のゲーム、①スマートボールすくい(素麺流し器による)、②輪投げ、③ダーツ、④ボーリングで遊んで頂き、プレゼントとして子ども用お菓子(つり下げ菓子 1 袋、アンパンマンチョコ 4 コ)、スマートボール(クリアカップにすくったボールを持ち帰りやすいようにカップごと全部)、子ども向けグッズ(自治会員の寄付による)をお渡しした。 ・大人の方には来場参加品として 0 円で準備できた防災用品(簡易トイレグッズ、軍手、ペール用ビニール袋)とたからづか防災マップ、飲物 1 本をお渡しして、ひと息コーナー(テーブルと椅子を設置した自治会館及びテントを張った空き隣地)で交流して頂いた。 ・開会挨拶の後、フェスタ実行委員による ① たからづか防災マップを活用した説明 ② 簡易トイレの実験 ③ 長期保存食の見本を提示を行った。 ・抽選会では、抽選 BOX に投函された抽選券を担当者が引き、1 番に氏名を読み上げられた方から順に景品を選んで頂いた。(景品内容は同額 10 種類 5 組、計 50 個を用意し結果は参加者全員にいきわたった。 ◇参加者数 ・全 172 世帯→52 世帯参加(参加率 30%) (約 100 名前後の参加、地域住民の参加有) ・子ども達→25 名参加 ・ボランティア→19 名参加(自治会役員以外)

4 事業の効果・成果（事業を実施したことにより得られた社会的な利益などを具体的に記入してください。）

- ・子どもから高齢者まで地域全体で顔の見える環境を作る。
- ・宝塚市総合防災課で得た地域の特性と情報を伝えることにより防災意識を高めて、身近なこととして、とらえて頂く。
- ・フェスタを機会に日頃の声掛けができるようになれば、災害時には心強いものになると期待している。

事業実績報告書

(※市ホームページに掲載予定ですので、できる限りわかりやすく記載してください。)

団体名 宝塚シニアお元気活動サポート協会

1 事業種別	行政提案型 ・ 自由提案型
2 事業名	地域のつながりを作る！シニア向けスマホ講座
3 事業の内容（実施時期、場所、回数、内容、参加者数などを含めて具体的に記入してください。）	他地域でスマホ講座に取り組んでいる講師をお招きし、教科書を用いた LINE の講座を全4回、実施しました。 開催場所 宝塚中央公民館 210 会議室 1回目：1月15日 参加人数11名 LINEとは？ 友達追加、メッセージ、電話練習 2回目：1月22日 参加人数12名 写真、スタンプの送り方、QRコードの読み方 3回目：2月5日 参加人数13名 無料スタンプの取り方、メッセージのブロック 4回目：2月19日 参加人数11名 これまでの復讐テスト LINEの相手の名前の変え方、メッセージの取り消し
4 事業の効果・成果（事業を実施したことにより得られた社会的な利益などを具体的に記入してください。）	広報誌の掲載と、FM宝塚にて5分ほど紹介の機会をいただき、そこから参加を募ったことで、多くの方への認知と、スマホの悩みを持っている方が多いと感じました。 参加者全員がその場ではメッセージのやり取りや、電話の練習を行うことで、自宅に帰ってからも実践できることをサポートできた。参加者と団体でコミュニケーションが取れるようになった。 宝塚のスマホボランティアの方にも参加いただき、今後の相談にもつなぐことができた。 LINEについてだけでなく、講座開始前後に個別の相談会も実施してくれ、LINE以外にも PayPay で買い物ができるようになった方や、アンケートでその後に期待することを聞くこともできたので、次回に活かしていきたい。

事業実績報告書

(※市ホームページに掲載予定ですので、できる限りわかりやすく記載してください。)

団体名 伊子志自治会

1 事業種別	行政提案型 ・ <u>自由提案型</u>
2 事業名	末広小学校前の花壇リニューアルと市役所通り植栽帯整備
3 事業の内容（実施時期、場所、回数、内容、参加者数などを具体的に記入してください。）	末広小学校前花壇のリニューアル 当場所は、県道西宮宝塚線の歩道部で、県道路アドプトの管轄です。 歩道距離 約 50m(昨年は 30m)までリニューアルした花壇には、花植物として多年草が半分、1年草が半分に配分して、1年草は年2回(春5月と秋11月)に、約10~20名ほどで、今後も継続して、植替えをしていきます。 今後は、日常管理(水やり草取り等)のみになります。 水やりは、出来るだけ、自然の天気任せることとして、表面乾燥防止のマルチングをしていますが、晴天が続く場合には、数名が、近くの公園の水道からポリ容器にて運搬して、適宜行っています。 草取りも、マルチング対策等をしているので、少ないと思いますが、植物好きな方をお願いして、早めに、抜いて頂くようお願いしていきます。 B. 市役所通りの植栽帯整備 植栽帯の場所は、雑草が生えるのを防止するためのグランドカバー植物(※クラピア)を移植したので、乾燥にも強く、芝生より、草が生えにくくなっています。 日常管理としては、植えてから根が張り渡るまでの半年から1年間くらいは、草との生存競争の為、除草しての水分補給が必要だと思いますので、継続管理をします。 こちらも、自然の天気任せることとしています。異常気象で、1週間以上も雨が降らない場合では、水分補給を実施します。

4. 事業の効果・成果（事業を実施したことにより得られた社会的な利益などを具体的に記入してください。）

本年度のきずなづくり事業として、花壇の位置変更、花壇枠組、花壇土の交換等の大きな労力作業は、完了しましたので、当場所での以後の作業は、女性や子供でも出来る日常管理(水分補給、草取り、花柄採り等)の手入れが中心になります。

誰でもが、いつでも参加して、手入れして良いのだと、付近の住人や店舗に声掛けをするように心がけ、お願い看板を立てて、一般の人の協力をお願いしていきたいと思います。

事業実績報告書

(※市ホームページに掲載予定ですので、できる限りわかりやすく記載してください。)

団体名 山本おさんぽマルシェ

1 事業種別	行政提案型 ・ 自由提案型
2 事業名	山本おさんぽマルシェとスタンプラリー
3 事業の内容（実施時期、場所、回数、内容、参加者数などを含めて具体的に記入してください。）	☐スタンプラリー実施 10月1日～31日 場所 山本駅界限参加店 景品 オリジナルデザイン ミニ水筒・付箋セット(つのむらじゅんこデザイン) ガイドブック 3000 枚作成。各店舗の他にも市の施設にも設置していただいた。スタンプラリーには 39 店舗が参加。押印条件は各店舗が設定。スタンプを 7 つ集めた先着 100 名様にミニ水筒をプレゼント。ミニ水筒がなくなったら付箋セットに切り替えた。 ☐マルシェに参加 10月12日～14日 場所 あいあいパーク前 宝塚植木まつりと同時開催の「秋のミニ手作りフリーマーケット」に山本おさんぽマルシェとして出店。ガイドブックの配布とともに、スタンプラリーの押印もする。
4 事業の効果	・成果（事業を実施したことにより得られた社会的な利益などを具体的に記入してください。） 昨年に続き 2 度目の実施となるが、昨年の景品のエコバッグを持って来店される方が多く、地域の方が期待を寄せてくれていることを実感。スタンプを集める条件を昨年の 5 つから 7 つに増やしたところ、「今まで行ったことが無かったお店に、今回は行ってみた」という声がちらほら聞かれた。 宝塚市外にも広く知ってもらうため、宝塚市外からの来場者も多い宝塚植木まつりと同時開催のマルシェに参加してガイドブックを配布した。 またプレスリリースを作成し、メディアに発送したり、メールでアピールしたところ。Web メディアやラジオ、地元のケーブルテレビに取り上げていただいた。(FM 宝塚、LIVING 神戸・阪神間 web、KISS PRESS(KISS FM の web メディア、J : COM ジモトトピックス)。 昨年以上に山本駅界限の魅力を広く、多くの方に伝えることができたと感じている。また点在する小さな店と商店会が協力する基盤が作れた。これからの山本駅界限の発展を目指す上でよい関係を育めた。